

1月の園だより

http://jyozan-k.com

R5.12.22
幼保連携型認定こども園
城山幼稚園



早いもので、もうすぐクリスマスですね♪日に日に寒さが厳しくなりますが、子どもたちは元気に外で遊んでいます。エアコンは適宜利用しますが、今後も外遊びを活用し、体を動かすことで体の中から温め、この寒さを乗り切りたいものです。3学期も子どもたちが楽しく過ごせるよう努めていきたいと思ひます。手洗い、うがい等を励行し、健康管理には十分気をつけましょう。来年もいろんなことに挑戦し子どもたちが楽しんで過ごせる年にしたいですね。どうぞよろしくお祈ひします。

◆1月の予定◆

日	曜	行事及び締切など
1	月	元日
2	火	
3	水	
4	木	御用始め 冬休み預かり保育
5	金	冬休み預かり保育
6	土	土曜日預かり保育
7	日	
8	月	〈祝〉成人の日
9	火	始業式 鏡開き会
10	水	記念写真撮影 お弁当デー
11	木	
12	金	面談期間(～1/29)
13	土	土曜日預かり保育
14	日	
15	月	避難訓練(火災)預かり保育等封筒配布
16	火	預かり保育等納入期間
17	水	
18	木	体験入園
19	金	
20	土	土曜日預かり保育
21	日	
22	月	
23	火	
24	水	WEB保育参観(ちっち・ぐんぐん)
25	木	WEB保育参観(にこにこ)
26	金	保育料納入日 体験保育
27	土	土曜日預かり保育
28	日	
29	月	
30	火	WEB保育参観(345赤・青チーム)
31	水	WEB保育参観(345黄・緑チーム)

※平日の預かり保育は、利用週の前週の金曜日が提出期限です。

※土曜日の預かり保育は、利用週の木曜日が提出期限です。

個人面談があります

年間行事予定表でも計画しております面談を、1/12(金)～29(月)の間に行います。今回は小学校入学に向けてゆり組は全員、他のクラスは希望者としてします。普段なかなか話す時間が取れない、お子さんの園での様子があまり分からない方…などお子様のことをご家庭と共有することで、子どもたちへのより良い保育に繋がりたいと考えています。ゆり組以外で面談ご希望の方は、職員にお声かけください。日程は後日、お知らせします。

移行が始まります♪

基本的に1年間は学期ごとに節目を迎え、子どもたちの成長に合わせて保育環境も変化していきます。ですが3学期～新学期を迎える時は特別、子どもたちにとってはとても大きく環境が変わります。子どもたちにとっては、ただ日付が3月31日から4月1日と1日過ぎただけなのに、一つ上のクラスに進級するため、部屋や先生たちが変わり1日の流れが違ってきます。当園では、その大きな変化に子どもたちが戸惑うことがないように、1月に入ると「移行」と言って、来年度過ごすお部屋の環境に少しずつ慣らして生活していきます。具体的には、各クラスだよりでお知らせする予定です。子どもたちが期待感を持って、スムーズに進級・進学できるよう取り組んでいきたいと思ひます。

年長児は小学校に向けて、ランチの時間を学校の給食の時間に合わせ、年長だけで過ごす時間が増えてきます。また小学校の先生との連絡会等実施される予定なので、何か不安なこと等ありましたら職員にお声かけください。

お知らせとお願い

○ 記念写真撮影について

10日(水)は、記念写真撮影です。345歳児は、制服(白ボロシャツ、白ソックス)でお願いします。012歳児は普通の服装です。当日はなるべくお休みがないようにして下さい。

○ 職員について

○ 副食費について

社会情勢を鑑みて、来年度から、副食費を4,500円に変更させていただきます。ご理解とご協力の程、よろしくお願いします。



～おたのしみ会☆ご協力ありがとうございました～

皆様のご協力のおかげで、無事におたのしみ会を終えることができ職員一同ほっとしているところです。ありがとうございました。運動会では運動面の発達を、おたのしみ会では表現面での発達をということで、お子様一人ひとりの1年間の成長を感じて頂きたいという思いで取り組んできました。

特に劇あそびにおいては、保育者の導入やシアターゾーンなどの環境をきっかけに子どもたちが各々のペースで興味を持ち夢中になっていく姿が見られました。また345歳児のリズムでは、今年も「楽器あそび」を選択肢の中に加えました。

年間を通した音楽講師の阿部先生とのリズムの時間や普段の活動のなかで子どもたちが音楽に親しみ、楽器を通してリズムを楽しんでいるその普段の姿を見て頂けたことを大変うれしく思っています。ダンスにしても楽器にしても、子どもたちがやりたいものをお家の方に見せたいものをそれぞれの理由で選び、表現できたことを素晴らしいと思ひます。

右の写真は、予行2回目の舞台袖の様子です。もも組の子どもたちが、劇の出番をわくわくドキドキしながら待っています。中には、寝そべて舞台の様子を覗いている子どももいます。おそらく子どもたちがこの舞台から見た本番の景色は、予行の時とは全然違っていただいでしょう。残念ながら当日お休みだった子どもたちもいますが、子どもたちは、これまでの取り組みとその後の保育の中で日々貴重な経験を重ねています。今回のおたのしみ会に取り組む子どもたちの姿を見ても、決して本番がゴールではないことを改めて感じさせられました。今後も子どもたちの成長を、保護者のみなさまと共有していきたいです。

